

ホテルでの職業体験

～仙台市立湯元小学校 学校支援地域本部～



湯元小学校は、仙台市太白区秋保町の東部、秋保温泉郷の中心に位置します。周辺には名取川が流れ、アカマツの美林に囲まれた湯元公園や、伝統工芸が集まる「秋保工芸の里」があり、自然と文化が調和した地域です。児童は豊かな自然に触れながら、地域と共に成長しています。

【ホテルでの職業体験とは？】

湯元小学校は、仙台でも有数の温泉地である「秋保温泉郷」の中心に位置する小学校です。地元の旅館やホテルの仕事について理解を深めようと、毎年6年生が地元のホテルで職業体験を行っています。10年以上続いている取組で、ホテルの仕事について説明を受けた後、実際にベッドメイキングの作業を体験させてもらいます。体験する中で、「仕事の大変さ」や「おもてなしの心の重要性」を学んでいます。

最初はなかなかきれいにできなかったこどもたちも、徐々にコツを覚え、とてもきれいに作業することができるようになっていきました。

こどもの声

働くことの大変さを実感

職業体験の様子



- 1時間近くしか働かなかったのに意外に疲れた。1日仕事をしている大人はすごいと思いました。
- ホテルの仕事のことをもっと詳しく知れましたし、クラスメイトと協力してベッドメイキングをできてうれしかったです。分かりやすくそして優しく教えてくださったので初めてベッドメイキングをしたのですがきれいにできたと思っています。
- 普段できないような体験ができて良かったし、できることが増えてうれしかったです。上手にできたときにも褒められてやる気が出ました。

地域の声

活気ある町づくりに参加してほしい



ホテルクレセント総務部長

たかしま かずや
高島 一也 さん

職場体験のお世話をしていただいた高島さんです。

「ホテルや旅館は多くの人がいないと成り立ちません。様々な業種の方のお力があって成り立ちます。こどもたちからしてみると、何もないような街に思うかもしれないが、そんなことはない。この街に関わる人たちというのは、何千人、何千社あるということを知ってもらって、すごいところ、すごい街だということを分かってもらいたいという思いがあります。」と、ホテルの仕事内容の説明をする意図について話してくれました。「こどもたちがこの秋保に戻り、活気ある町づくりに参加してほしい」と、御自身の思いも語ってくれました。こどもたちに優しく分かりやすい言葉で説明している姿が印象的でした。

学校の声

地域に支えられ、育てられるこどもたち

ベッドメイキングを教わる
こどもたち



湯元小学校の工藤教頭は、地域との交流活動について、「たくさんの方々に支えられているという感謝の心や、自分たちの地域を大切にする気持ちを育むことができます。こどもたちと地域の方々が交流することで、『顔の見える関係』を築くことができ、様々な場面での声掛けや見守りなど、地域の力の大きさを感じています。」と話してくれました。

職業体験以外にも、「秋保の田植踊（湯元の田植踊）の伝承活動」や「田植・稲刈り・脱穀体験」「民話を聞く会」「ホテルの女将による自分づくりの講話」など、地域の方々を講師とした学習活動を、年間を通して数多く取り入れているとのことでした。

【まとめ】

湯元小学校では、地域の協力を得て、様々な体験活動を行っています。今回取材させていただいた6年生の職業体験もその一つです。活動を見学させていただき、地域の方々が「秋保全体でこどもたちを育てたい」という強い思いが伝わってきました。最初は緊張していたこどもたちも、ホテルの方々に褒められるうちに、自信を持ってベッドメイキングができるようになっていきました。こどもたちは、仕事の大変さを実感するとともに、地域の方々の温かさや地域を思う気持ちを感じることができたのではないのでしょうか。活気あふれる町づくりのため、これからも学校と地域の連携は続いていきます。

